

**小田原短期大学「保育学科 通信教育課程」
収容定員増に関する採用ニーズ調査
結果報告書
【事業所対象】**

平成29年6月



MARKETING RESEARCH SERVICE, INC.
株式会社 マーケティング・リサーチ・サービス

◆目次

◆調査概要	．．． P 3
<u>I. 調査結果まとめ</u>	．．． P 4
1. 回答事業所（回答者）プロフィール	．．． P 5
2. 「保育学科 通信教育課程」評価	．．． P 6
<u>II. 調査結果</u>	．．． P 7
1. 属性	．．． P 8
2. 採用状況	．．． P 10
3. 特色に対する魅力度	．．． P 12
4. 社会的必要性／採用意向／採用想定人数	．．． P 13
<u>巻末資料 1：調査票</u>	．．． P 16
<u>巻末資料 2：学科説明資料</u>	．．． P 19

◆調査概要

(1) 調査目的

平成30年4月に入学定員増を計画している小田原短期大学「保育学科 通信教育課程」に関して、想定される就職先の採用ニーズを把握するため。

(2) 調査概要

調査対象	想定される就職先（幼稚園・保育所および児童養護施設等）の人事関連業務担当者	
調査方法	郵送調査	
調査地域	全国（主に、神奈川県・東京都・静岡県） ⇒小田原短期大学卒業生の採用者数が多いエリアを中心に実施。	
調査 回答者数	依頼数	2,290社
	回収数 (回収率)	510社（22.3%）
調査時期	平成29年5月19日（金）～5月26日（金）	
調査実施機関	<input type="checkbox"/> 調査票配布・回収：小田原短期大学 <input type="checkbox"/> 集計・分析：（株）マーケティング・リサーチ・サービス	

(3) 調査項目

- 属性
－人事採用への関与度／本社（本部）所在地／業種／従業員（正規社員）数
- 過去3か年の正規社員平均採用数
- 昨年度と比較した本年度の採用予定数
- 採用したいと考える学問系統
- 「保育学科 通信教育課程」の特色に対する魅力度
- 「保育学科 通信教育課程」の社会的必要性
- 「保育学科 通信教育課程」卒業生の採用意向
- 「保育学科 通信教育課程」卒業生の毎年の採用予定人数

I. 調査結果まとめ

1. 回答事業所（回答者）プロフィール

（1）属性

人事採用への関与度	<ul style="list-style-type: none">● 86.0%が、採用や選考に関わっている。内訳は以下のとおり。<ul style="list-style-type: none">－採用の決裁権があり、選考にかかわっている : 57.3%－採用の決裁権はあるが、選考にかかわっていない : 1.4%－採用の決裁権はないが、選考にかかわっている : 27.3%
本社（本部）所在地	<ul style="list-style-type: none">● 52.0%が、神奈川県内に本社（本部）を置いている。内訳は、以下のとおり。<ul style="list-style-type: none">－横浜市 : 15.1%－川崎市 : 5.3%－小田原市 : 4.1%－その他 : 27.5%● 他県では、静岡県が16.3%と多い。
業種	<ul style="list-style-type: none">● 幼稚園・保育所で、88.8%を占める。内訳は以下のとおり。<ul style="list-style-type: none">－幼稚園 : 50.0%－保育所 : 38.8%
従業員数（正規社員）	<ul style="list-style-type: none">● “50名未満”が79.6%を占める。“100名未満”と合わせると89.0%。

（2）採用状況

過去3か年の正規社員平均採用数	<ul style="list-style-type: none">● 有効回答510社の採用人数を合計した「採用総数」は、2,972名。● カテゴリー化した結果では、“1～5名未満”が71.8%と最も多い。
昨年度と比較した本年度の採用予定数	<ul style="list-style-type: none">● “増やす”“昨年度並み”“未定”が、それぞれ3割前後である。詳細は以下のとおり。<ul style="list-style-type: none">－増やす : 30.0%－昨年度並み : 31.0%－未定 : 28.2%
採用したいと考える学問系統	<ul style="list-style-type: none">● 上位は、以下のとおり。<ul style="list-style-type: none">－幼児教育学（79.8%）－保育学（74.1%）－看護・保健学（18.0%）

2. 「保育学科 通信教育課程」 評価

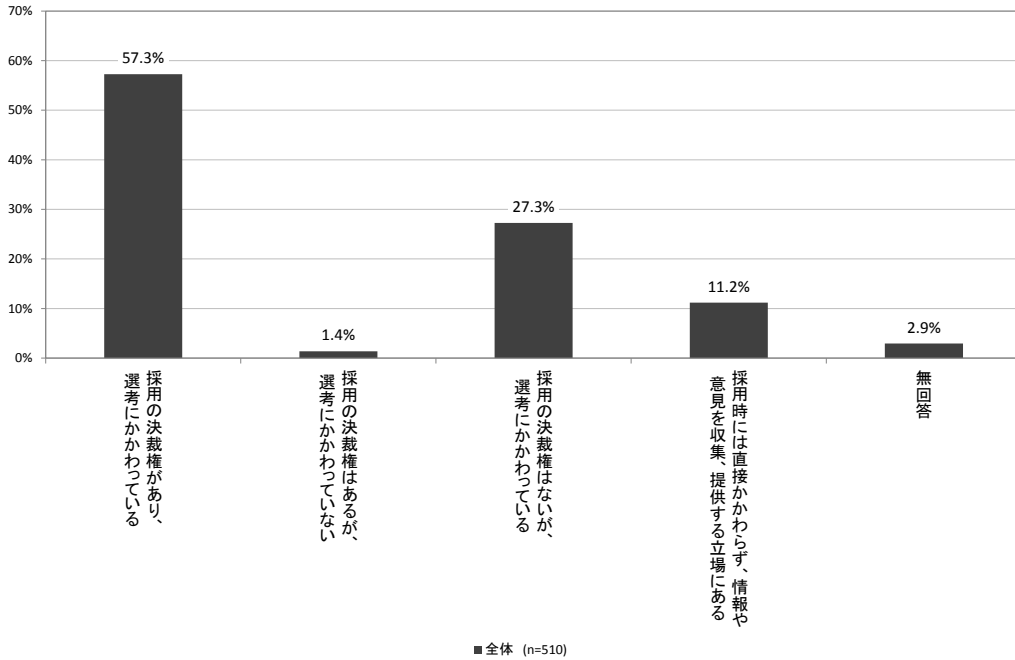
<p>特色魅力度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 魅力を感じる（“とても魅力を感じる”と“ある程度魅力を感じる”）と回答したボリュームは、すべての特色で85%を超える。 ● 魅力度の上位は、以下のとおり。 <ul style="list-style-type: none"> －保育・幼児教育に関するノウハウを長年培った講師が実践的授業を展開し、より即戦力のある保育者・幼児教育者の養成を目指しています。（93.9%） －創立60年の歴史と伝統、実績を持つ小田原短期大学において、保育者・幼児教育者としての子ども観や社会観、基礎的な知識・技術を学ぶことができます。（90.8%） －通信教育により、テキストを使用した在宅学習、および年10回の日程が設けられているスクーリング（対面授業）での履修など、仕事を持ちながらも学修が可能です。（90.5%）
<p>社会的必要性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● “必要だと思う”と回答した事業所は、91.6%（467事業所）。大部分の事業所で、これからの社会にとって必要な学科と認識されている。
<p>卒業生に対する採用意向</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● “採用したいと思う”と回答した事業所は75.7%（386事業所）。 <p>“採用したいと思う”と回答した事業所の属性別結果は、以下のとおり。 “東京都”が際立って高い意向を示している。</p> <p><本社所在地別></p> <ul style="list-style-type: none"> －神奈川県（74.0%） －東京都（96.2%） －静岡県（65.1%） <p><業種別></p> <ul style="list-style-type: none"> －幼稚園（64.3%） －保育所（87.4%） <p><採用したい学問系統別></p> <ul style="list-style-type: none"> －幼児教育学+保育学（75.8%） －幼児教育学（73.0%） －保育学（80.4%）
<p>毎年の採用予定人数</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 卒業生を“採用したいと思う”と回答した事業所が採用を想定する人数は、合計で470名。 （※“5～9名”＝「7名」、「10名以上」＝「10名」、「人数は未定」＝「1名」と置き換え、合計人数を算出。）

II. 調查結果

1. 属性

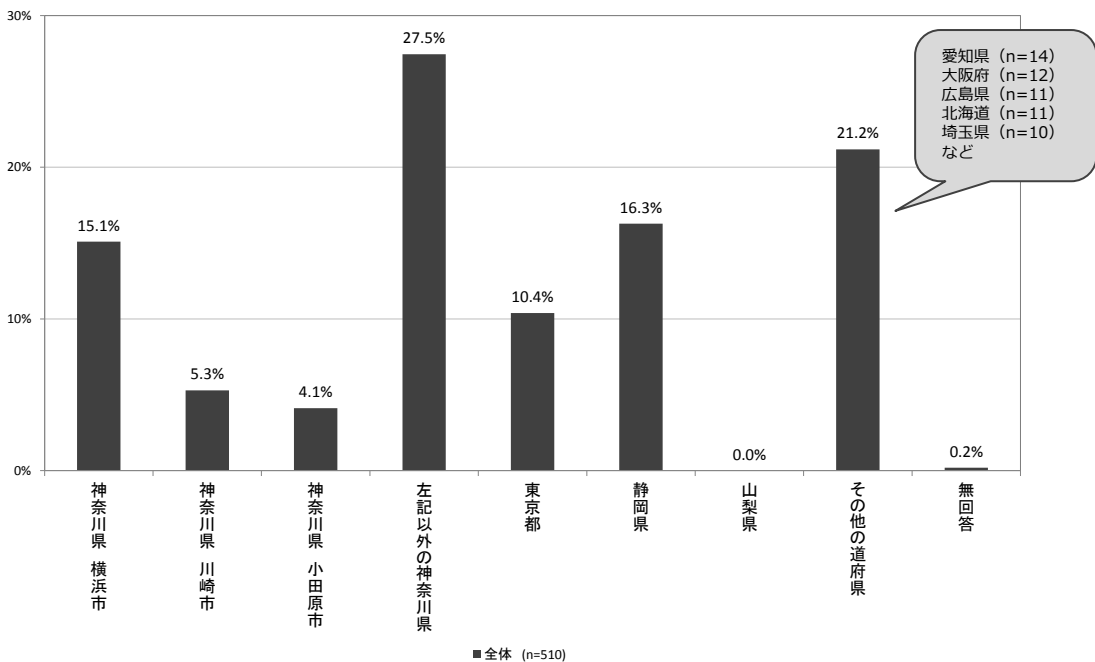
(1) 人事採用への関与度

Q 1. 本アンケートにお答えいただいている方の、人事における採用への関与度をご回答ください。（該当する番号 1 つに○）



(2) 本社所在地

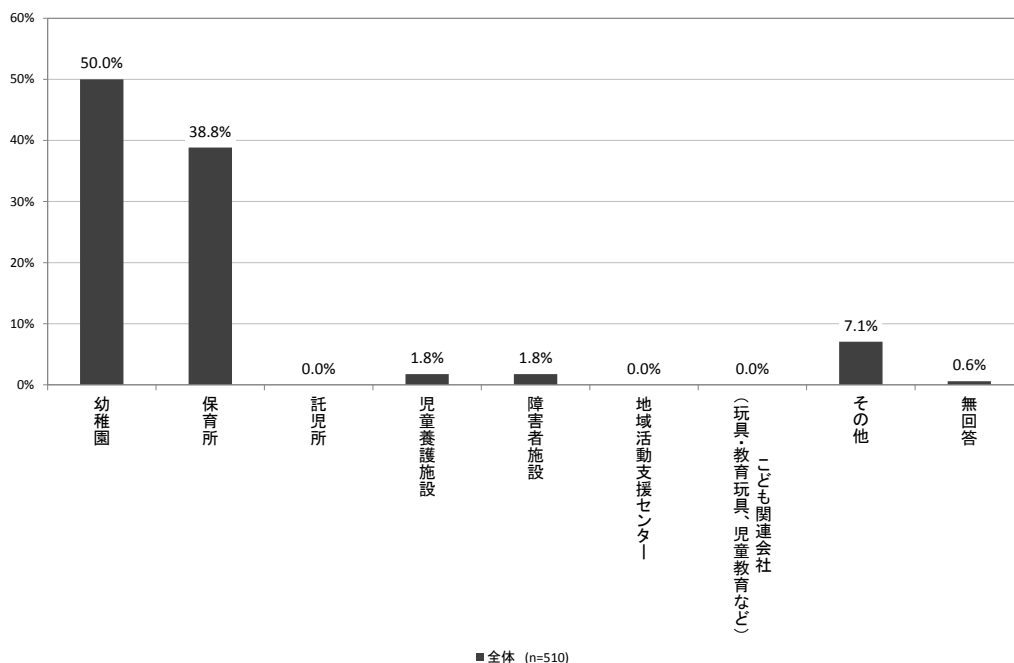
Q 2. 貴社・貴団体の本社（本部）所在地をご回答ください。（該当する番号 1 つに○）



1. 属性

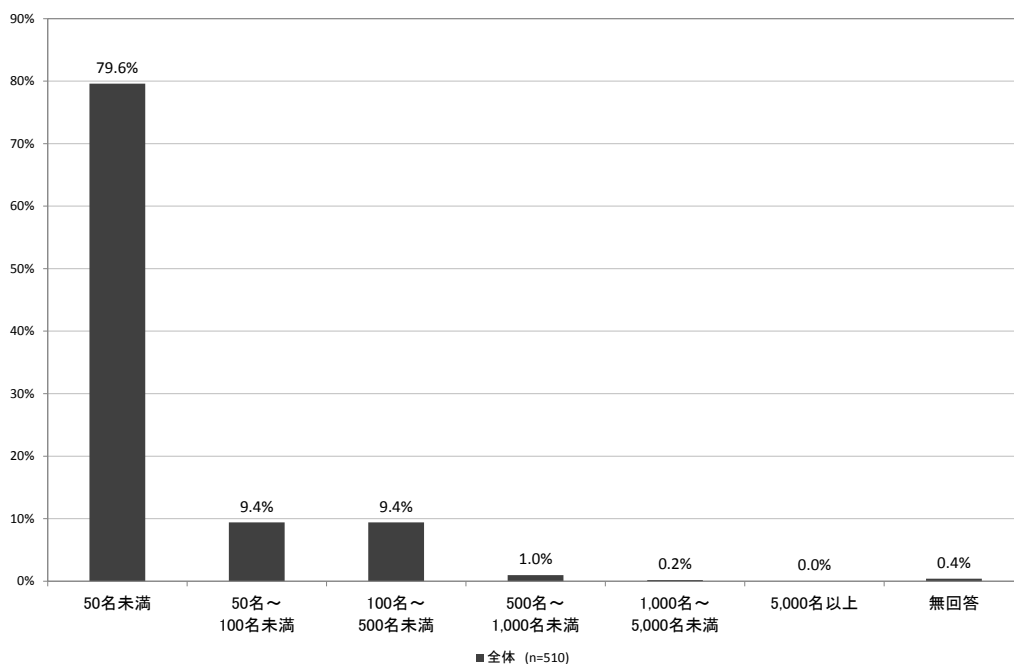
(3) 業種

Q3. 貴社・貴団体の種類について、ご回答ください。(該当する番号1つに○)



(4) 従業員(正規社員)数

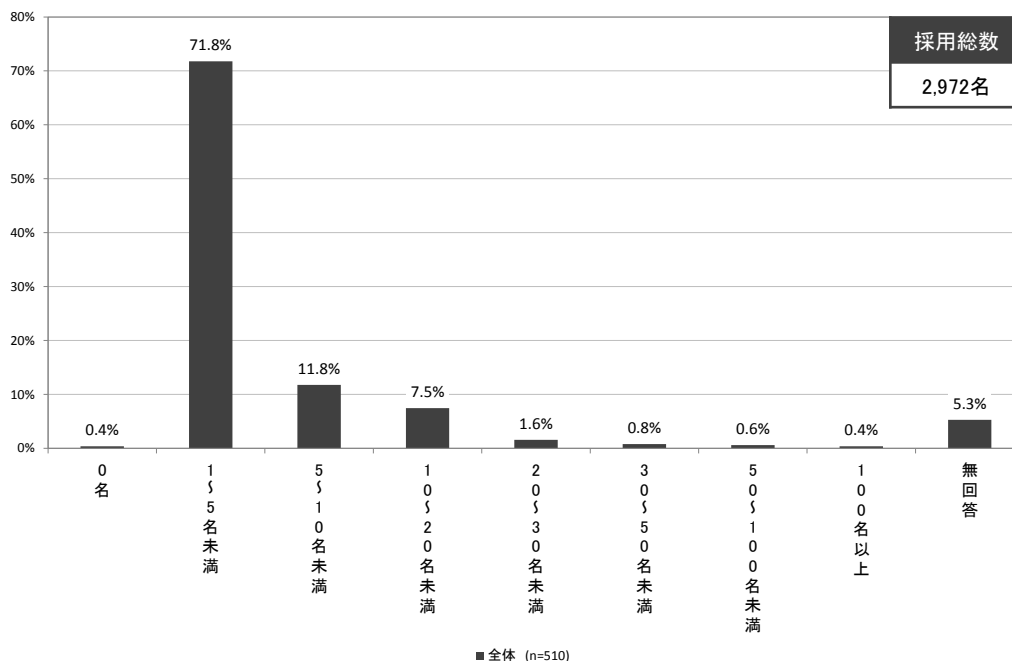
Q4. 貴社・貴団体の従業員数(正規社員)について、ご回答ください。(該当する番号1つに○)



2. 採用状況

(1) 過去3か年の正規社員平均採用数

Q 5. 貴社・貴団体の過去3か年の平均的な正規社員の採用数について、ご回答ください。

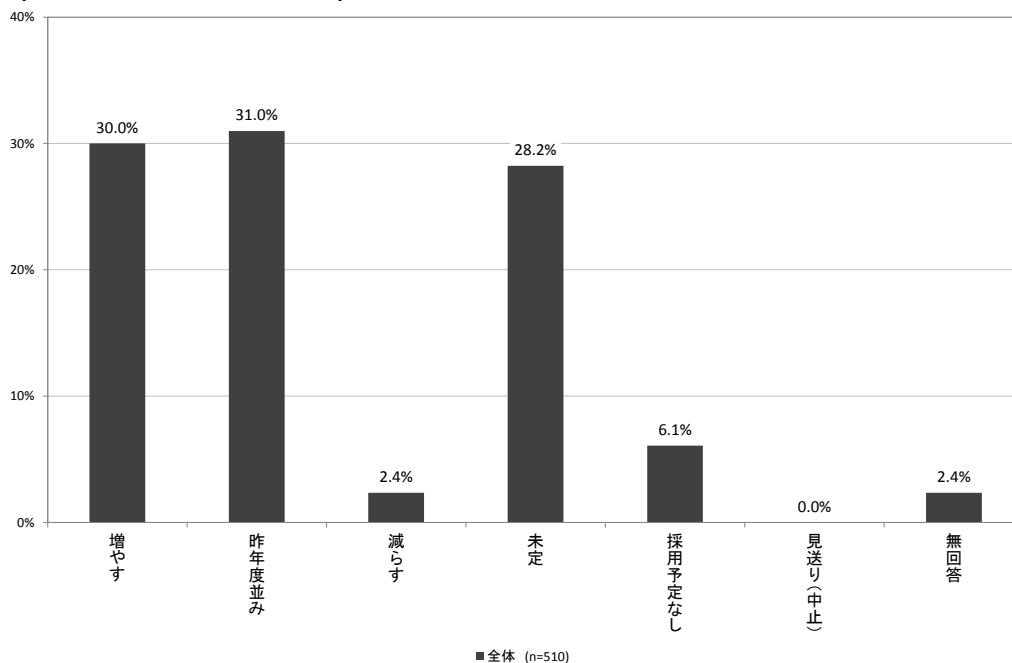


※自由記述の人数を、カテゴリー化してグラフ化。

※「3~4名」のように幅で記述された回答は、間の数値を再割り当て。この例であれば「3.5名」と設定。

(2) 昨年度と比較した本年度の採用予定数

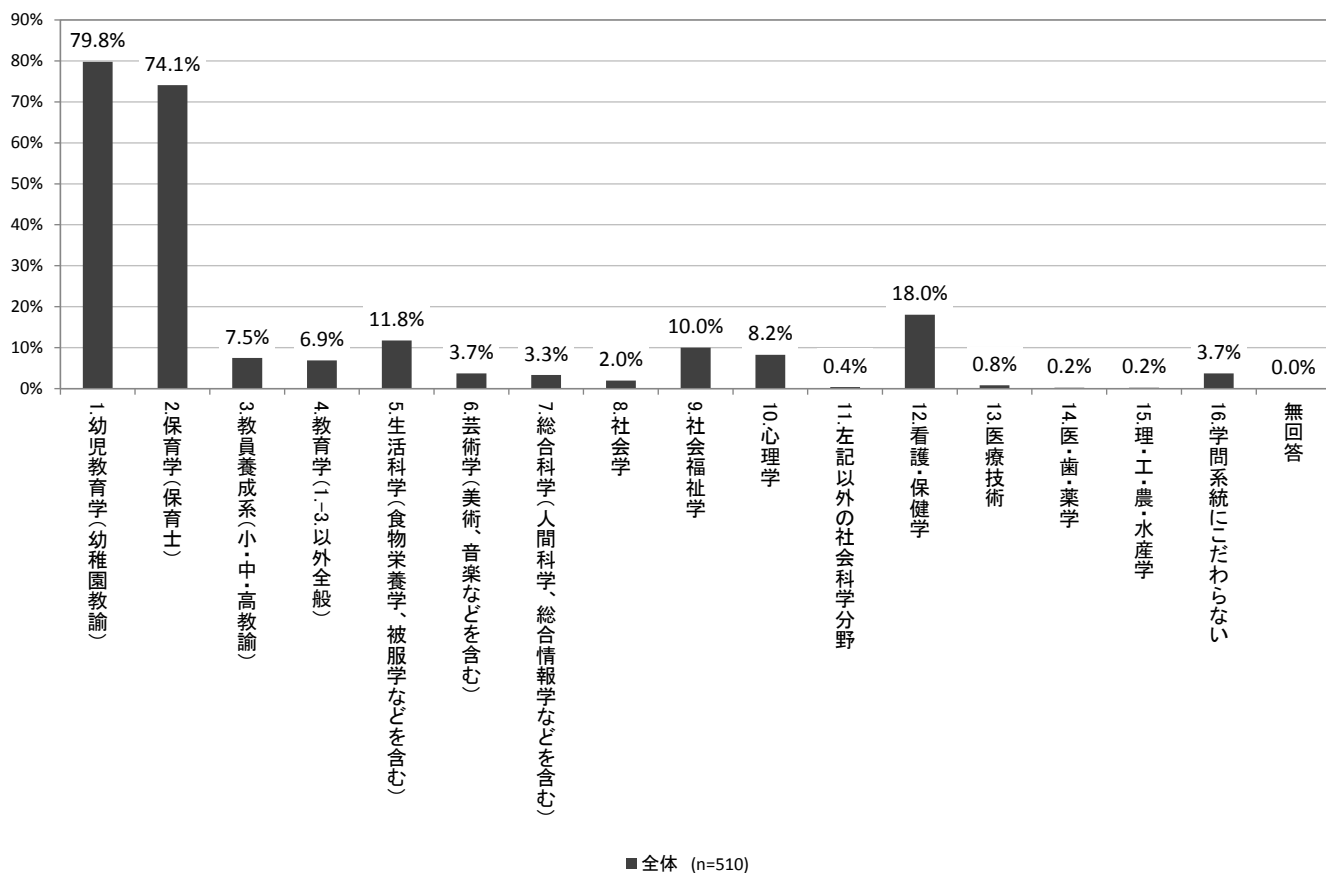
Q 6. 貴社・貴団体の本年度の採用予定数は、昨年度と比較していかがですか。
(該当する番号1つに○)



2. 採用状況

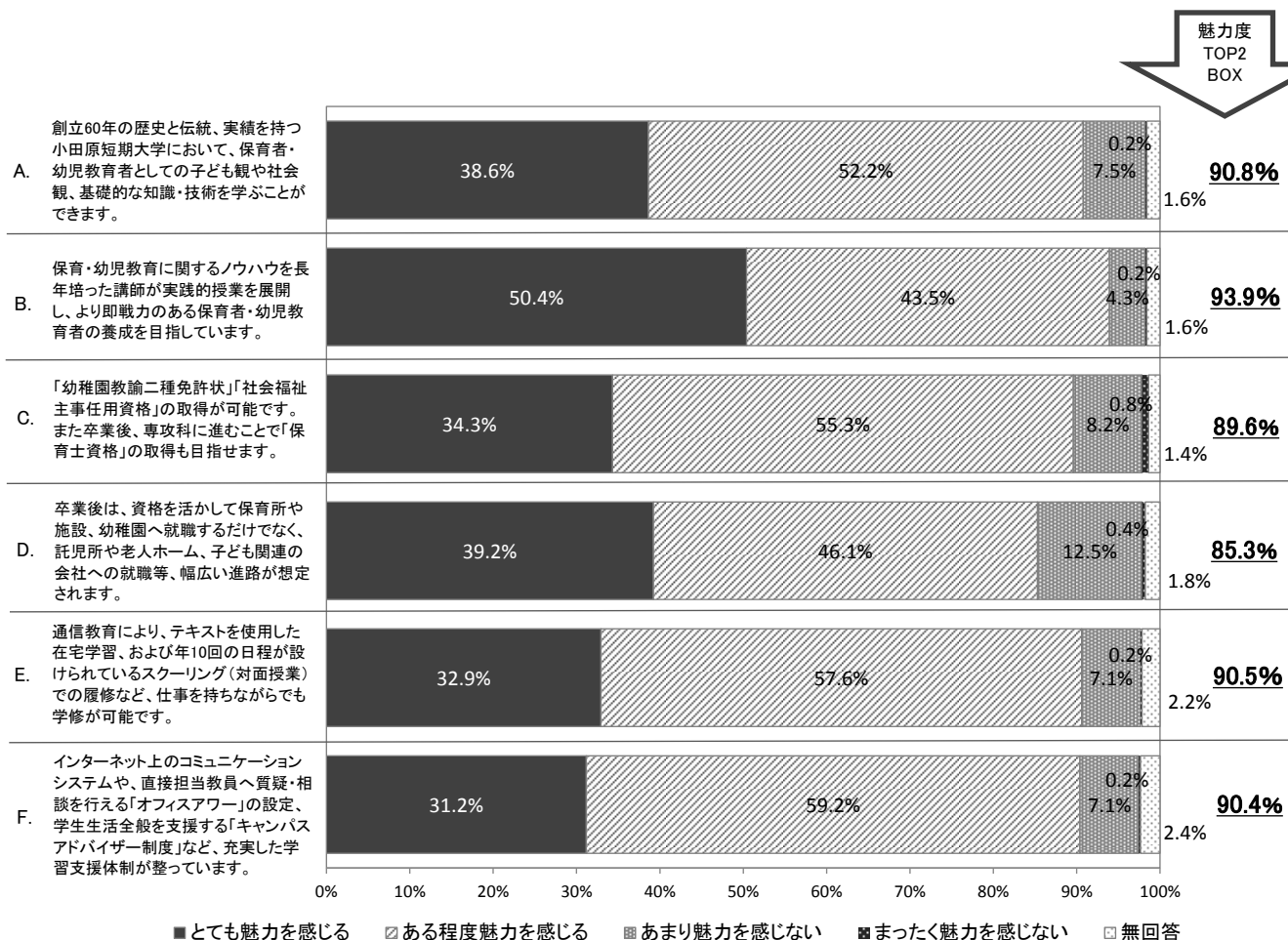
(3) 採用したいと考える学問系統

Q7. 貴社・貴団体では、どのような系統の学部・学科を卒業した人物を採用したいとお考えですか。（該当する番号すべてに○）



3. 特色に対する魅力度

Q 8. 小田原短期大学「保育学科 通信教育課程」には、以下のような特色があります。貴社・貴団体（ご回答者）にとって、以下の特色はそれぞれの程度魅力に感じますか。（それぞれ、該当する番号1つに○）



(n=510)

4. 社会的必要性／採用意向／採用想定人数

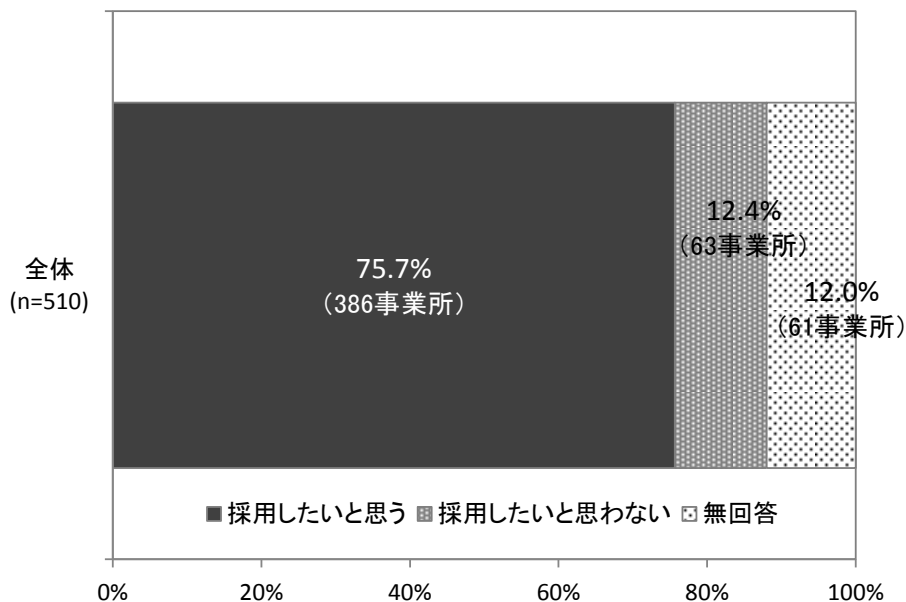
(1) 「保育学科 通信教育課程」の社会的必要性

Q9. 貴社・貴団体（ご回答者）は、小田原短期大学「保育学科 通信教育課程」は、これからの社会にとって必要だと思われますか。（該当する番号1つに○）



(2) 「保育学科 通信教育課程」卒業生の採用意向

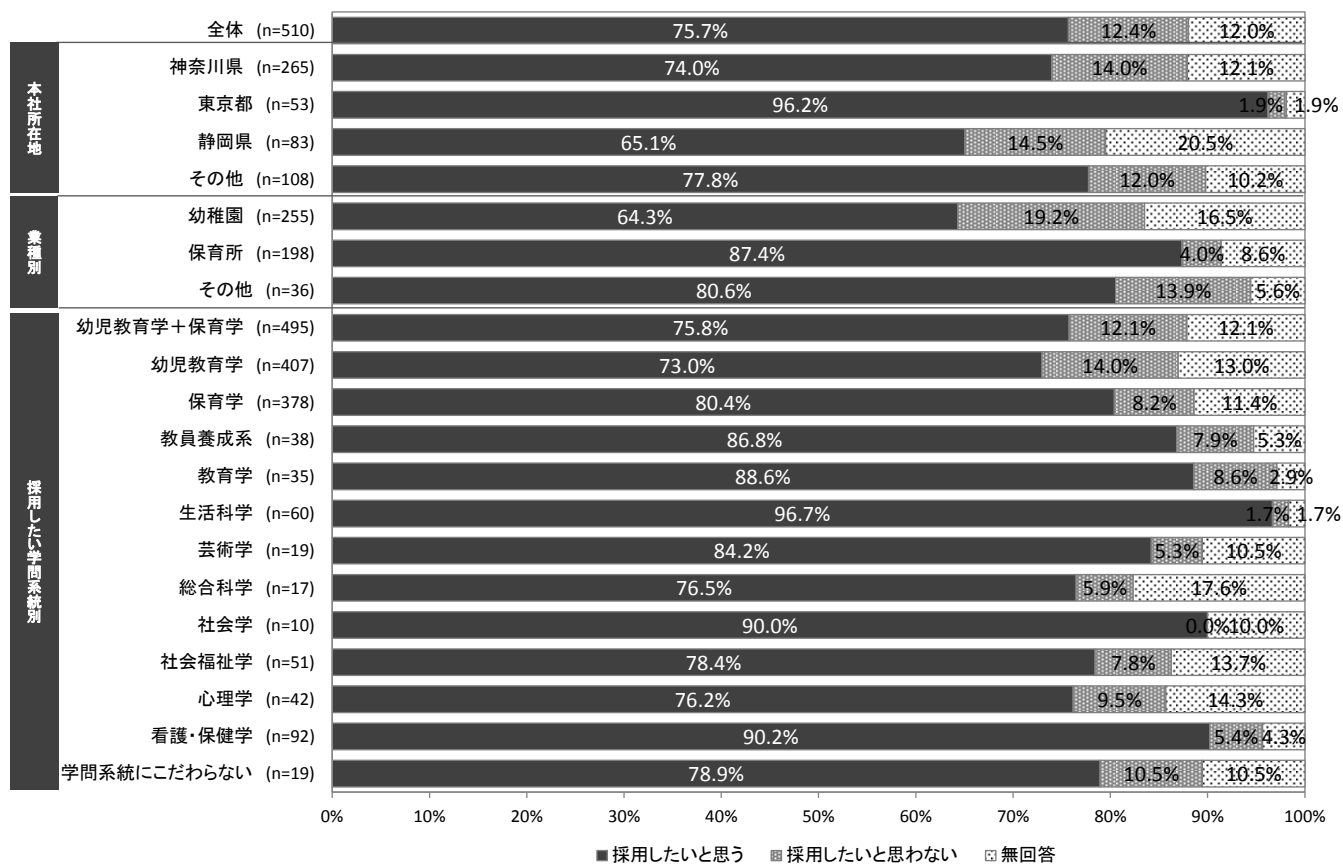
Q10. 貴社・貴団体（ご回答者）は、小田原短期大学「保育学科 通信教育課程」を卒業した学生、について採用したいと思われますか。（該当する番号1つに○）



4. 社会的必要性／採用意向／採用想定人数

(3) 属性別「保育学科 通信教育課程」卒業生の採用意向

Q10. 貴社・貴団体（ご回答者）は、小田原短期大学「保育学科 通信教育課程」を卒業した学生、について採用したいと思われますか。（該当する番号1つに○）



4. 社会的必要性／採用意向／採用想定人数

(4) 「保育学科 通信教育課程」卒業生の毎年の採用予定人数

Q11. Q10で「1. 採用したいと思う」と回答された方におたずねします。
採用を考える場合、小田原短期大学「保育学科 通信教育課程」を卒業した学生について、毎年何名程度の採用を想定されますか。（該当する番号1つに○）

	「単位」	1名	2名	3名	4名	5～9名	10名以上	人数は未定	無回答	⇒ 毎年の採用想定人数 合計（名） 476
全体	%	35.2%	10.1%	2.6%	0.0%	0.8%	0.5%	49.5%	1.3%	
	会社数	136	39	10	0	3	2	191	5	
	人数換算	136	78	30	0	21	20	191	0	

※「毎年の採用予定人数合計」は、“採用予定人数”と“会社数”を掛け合わせて人数を算出。

※“5～9名”＝「7名」、「10名以上」＝「10名」、「人数は未定」＝「1名」と置き換え。

卷末資料 1 : 調査票

小田原短期大学 保育学科 通信教育課程 に関するアンケート

現在、小田原短期大学では2018年(平成30年)4月より、「保育学科 通信教育課程」の入学定員を増やす計画を立てております。

「小田原短期大学 保育学科 通信教育課程 に関するアンケート」(以下、本アンケート)は、園・施設等の運営に携わる皆様からご意見をお伺いし、より充実した短期大学や学科にするための参考資料とさせていただきます。本アンケートで得た情報や回答内容は、上記の目的のための統計資料としてのみ活用し、個人を特定することは一切ありません。

つきましては、ぜひ本アンケートへのご協力をお願いいたします。

※本アンケートや同封した資料に記載されている「保育学科 通信教育課程」に関する事項はすべて予定であり内容が変更になる可能性があります。

はじめに、貴社・貴団体についてお伺いいたします。

Q1. 本アンケートにお答えいただいている方の、人事における採用への関与度をご回答ください
(該当する番号1つに○)

1. 採用の決裁権があり、選考にかかわっている
2. 採用の決裁権はあるが、選考にかかわっていない
3. 採用の決裁権はないが、選考にかかわっている
4. 採用時には直接かわらず、情報や意見を収集、提供する立場にある

Q2. 貴社・貴団体の本社(本部)所在地をご回答ください(該当する番号1つに○)

- | | | |
|--------------|----------------|---------------|
| 1. 神奈川県 横浜市 | 4. 1~3 以外の神奈川県 | 7. 山梨県 |
| 2. 神奈川県 川崎市 | 5. 東京都 | 8. その他の道府県() |
| 3. 神奈川県 小田原市 | 6. 静岡県 | |

Q3. 貴社・貴団体の種類について、ご回答ください(該当する番号1つに○)

- | | | |
|--------|---------------|----------------------------|
| 1. 幼稚園 | 4. 児童養護施設 | 7. こども関連会社(玩具・教育玩具、児童教育など) |
| 2. 保育所 | 5. 障害者施設 | 8. その他() |
| 3. 託児所 | 6. 地域活動支援センター | |

Q4. 貴社・貴団体の従業員数(正規社員)について、ご回答ください(該当する番号1つに○)

- | | | |
|---------------|------------------|--------------------|
| 1. 50名未満 | 3. 100名~500名未満 | 5. 1,000名~5,000名未満 |
| 2. 50名~100名未満 | 4. 500名~1,000名未満 | 6. 5,000名以上 |

Q5. 貴社・貴団体の過去3か年の平均的な正規社員の採用数について、ご回答ください。

過去 名程度

Q6. 貴社・貴団体の本年度の採用予定数は、昨年度と比較していかがですか。

(該当する番号1つに○)

- | | | |
|----------|--------|------------|
| 1. 増やす | 3. 減らす | 5. 採用予定なし |
| 2. 昨年度並み | 4. 未定 | 6. 見送り(中止) |

裏面へ続く

調査票 (2/2)

Q7. 貴社・貴団体では、どのような系統の学部・学科を卒業した人物を採用したいとお考えですか。(該当する番号すべてに○)

- | | |
|---------------------------|----------------------|
| 1. 幼児教育学 (幼稚園教諭) | 9. 社会福祉学 |
| 2. 保育学 (保育士) | 10. 心理学 |
| 3. 教員養成系 (小・中・高教諭) | 11. 上記(1-9)以外の社会科学分野 |
| 4. 教育学 (1-3以外全般) | 12. 看護・保健学 |
| 5. 生活科学 (食生活栄養学、被服学などを含む) | 13. 医療技術 |
| 6. 芸術学 (美術、音楽などを含む) | 14. 医・歯・薬学 |
| 7. 総合科学 (人間科学、総合情報学などを含む) | 15. 理・工・農・水産学 |
| 8. 社会学 | 16. 学問系統にこだわらない |

小田原短期大学では、2018年(平成30年)4月に、「保育学科 通信教育課程」の入学定員を増やすことを計画しています。以下は、本アンケートに同封している資料をご覧くださいの上でお答えください。

Q8. 小田原短期大学「保育学科 通信教育課程」には、以下のような特色があります。貴社・貴団体(ご回答者)にとって、以下の特色はそれぞれどの程度魅力に感じますか。(それぞれ、該当する番号1つに○)

ア.	創立60年の歴史と伝統、美譽を持つ小田原短期大学において、保育者・幼児教育者としての子ども観や社会観、基礎的な知識・技術を学ぶことができます。
	1.とても魅力を感じる 2.ある程度魅力を感じる 3.あまり魅力を感じない 4.まったく魅力を感じない
イ.	保育・幼児教育に関するノウハウを長年培った講師が実践的授業を展開し、より即戦力のある保育者・幼児教育者の養成を目指しています。
	1.とても魅力を感じる 2.ある程度魅力を感じる 3.あまり魅力を感じない 4.まったく魅力を感じない
ウ.	「幼稚園教諭二種免許状」「社会福祉主事任用資格」の取得が可能です。また卒業後、専攻科に進むことで「保育士資格」の取得も目指せます。
	1.とても魅力を感じる 2.ある程度魅力を感じる 3.あまり魅力を感じない 4.まったく魅力を感じない
エ.	卒業後は、資格を活かして保育所や施設、幼稚園へ就職するだけでなく、託児所や老人ホーム、子ども関連の会社への就職等、幅広い進路が想定されます。
	1.とても魅力を感じる 2.ある程度魅力を感じる 3.あまり魅力を感じない 4.まったく魅力を感じない
オ.	通信教育により、テキストを使用した在宅学習、および年10回の日程が設けられているスクーリング(対面授業)での履修など、仕事をもちながらでも学習が可能です。
	1.とても魅力を感じる 2.ある程度魅力を感じる 3.あまり魅力を感じない 4.まったく魅力を感じない
カ.	インターネット上のコミュニケーションシステムや、直接担当教員へ質疑・相談を行える「オフィスアワー」の設定、学生生活全般を支援する「キャンパスアドバイザー制度」など、充実した学習支援体制が整っています。
	1.とても魅力を感じる 2.ある程度魅力を感じる 3.あまり魅力を感じない 4.まったく魅力を感じない

Q9. 貴社・貴団体(ご回答者)は、小田原短期大学「保育学科 通信教育課程」は、これからの社会にとって必要だと思われるか。(該当する番号1つに○)

- 1.必要だと思う 2.必要だと思わない

Q10. 貴社・貴団体(ご回答者)は、小田原短期大学「保育学科 通信教育課程」を卒業した学生について採用したいと思われるか。(該当する番号1つに○)

- 1.採用したいと思う 2.採用したいと思わない

Q11. Q10で「1.採用したいと思う」と回答された方におたずねします。

採用を考える場合、小田原短期大学「保育学科 通信教育課程」を卒業した学生について、毎年何名程度の採用を想定されますか。(該当する番号1つに○)

1. 1名 3. 3名 5. 5～9名 7. 人数は未定
2. 2名 4. 4名 6. 10名以上

～本アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。～

卷末資料 2 : 学科説明資料

学科説明資料

【別紙】 学科説明資料

小田原短期大学 保育学科 通信教育課程に関する基本情報

小田原短期大学は、社会により多くの優秀な人材を輩出し社会に貢献するため、また地域のニーズに応えるために、2018年4月から保育学科通信教育課程の入学定員を現在の1,700名から2,200名に増やすことを検討しています。このアンケートは、定員増加の基礎資料にするため、皆様にご協力をお願いしています。アンケート結果は、統計資料としてのみ用い、目的以外に利用することはありません。

※以下は予定の内容を含んでおり、変更する場合があります。

【理念・養成する人材像】

時代とともに変化する学習ニーズに応えるため、本学の通学課程と同様の教育を提供できる通信教育を実施することで、乳幼児や子育てに関する質の高い知識や技術を持つ幼稚園教諭及び保育士を養成する。

【学科構成】

学科名	課程	定員増 予定年度	入学 定員	修業 年限	コース名	学位	主に取得可能な免許・資格
保育学科	通学課程	—	140名	2年	—	短期大学士 (保育学)	幼稚園教諭二種免許／保育士
	通信教育課程 (※男女共学)	2018年 4月	2,200名	2年	こども教育コース (1,700名)	短期大学士 (保育学)	幼稚園教諭二種免許
					こども保育コース (500名)		幼稚園教諭二種免許／※保育士

※保育学科 通信教育課程は男女共学です。

※こども保育コースは、通信教育課程卒業後、専攻科(修業年限:1年)へ進学することで保育士資格の取得が可能です。

【設置場所】

小田原キャンパス (小田原駅より徒歩15分)

〒250-0045 神奈川県小田原市城山4-5-1

【主な開講科目】

保育者論、子どもの保健、教育原理、教育制度論、子どもの食と栄養、保育の心理学、音楽表現、造形表現、身体表現 等

【通信教育の方法】

本課程及び専攻科で開設する全70科目のうち、35科目をテキスト履修科目(印刷教材による授業科目)、31科目をスクーリング履修科目(面接による授業科目)、4科目をテキスト履修及びスクーリング履修併用科目に設定する。主に、「講義」の授業形態により実施する科目をテキスト履修科目に、「演習及び実験・実習」の授業形態により実施する科目をスクーリング履修科目とする。

①テキスト履修科目とは

学生はシラバス、指定教科書及び担当教員が執筆した「学習の手引き」等を用いて学習を進め、科目修得試験を受験し、単位を修得していく科目

②スクーリング履修科目とは

年9回(初年度を除く)、土日を中心としたスクーリング日程を設け、集中講義による授業を実施し、授業内に実施される課題、単位修得試験、事前あるいは事後課題等により総合的な評価により単位を修得していく科目

【学費及び入学手続き納付金(初年度予定額)】

保育学科 通信教育課程

入学諸費: 選考料 10,000円、入学金 20,000円、学習管理費 5,000円、計 35,000円。

教育費等: 授業料(スクーリング履修料・科目修得試験料 すべて含む) 計 270,000円。

※同一年度内における
再履修料、再試験料は一切生じません。

その他(費用)

テキスト代別途、その他(団体保険料、同窓会費、資格申請手数料等)

※資格・免許課程に関する追加での「履修費」はありません。

【参考】首都圏(東京、埼玉、千葉、神奈川)にメインキャンパスを持ち 保育・幼児教育分野が学べる「通信制 短期大学」の学納金

短期大学名	学科名	入学諸費	教育費等	その他(費用)
帝京短期大学(東京)	こども教育学科	40,000円	120,000円 スクーリング別料金	資格・免許課程履修費、教科書代は別途必要。 スクーリング受講料(1単位6,000円)。
聖徳大学短期大学部(千葉)	保育学科	40,000円	96,600円 スクーリング別料金	免許・資格取得の場合、課程履修費及び教科書代は別途必要。 スクーリング受講料(1単位4,000円～5,000円)。

※私立大学通信教育協会 発行「2017 大学通信教育ガイド(大学・短大編)」より、引用。